



2020年度
卒業生と
いっしょに。

理事長あいさつ

～いつもの生活はとても大切なものですね～



世界中の皆さんが、目に見えないウイルスから命を守るために、必死で戦った一年でしたね。春の柔らかな陽ざしとともに、コロナの緊急事態宣言が解除され、制限されていた活動が徐々にできるようになってきた事はとても嬉しいです。

自粛生活の中では、「会える日を楽しみにしているね！」という言葉かけをしながら励ましあってきた方も多かったと思います。一緒におしゃべりしたり、食べたり、スポーツや歌を楽しんだりする当たり前のことが私たちの生活にとって、とても大切なものだという事を知ることができました。

羽ばたきの活動を振り返ってみますと、自然体験活動は中止になったものもありますが、生き物観察会（いちご狩り）ホテル観察会、稲刈り、しめ縄作りなどを行いました。形を変えながら工夫をし、それぞれのイベントを楽しむことができ、大変好評でした。

学童保育は、休校に伴い、朝早くからの開所となりました。マスクや手洗いの徹底や、密にならないよう配慮をし、元気に子どもたちが過ごせるような工夫をしました。現在も様々な感染対策に対応しながら行っています。

新しい取り組みとして、赤い羽根共同募金の助成を受け、児童・生徒の学習支援の場所を設けました。学習場所や指導して下さるスタッフの協力を得ながら行う事ができましたので、今後も必要な児童・生徒に、継続した学習支援が受けられるように検討していきたいと思っております。

皆さんが楽しみにしている地域食堂については「いつからはじまるの?」「早く始まって欲しいな!」などと、児童や高齢者の方から声をかけられています。心待ちにしている方もたくさんいますので、今後の状況をみながら再開に向けて努めていきます。今だからできることを発見し、皆さんと共に新たな挑戦をしていきますので、今後とも暖かなご支援、ご協力を賜りますようによろしくお願いたします。

きぼうの丘学童クラブ

きぼうの丘学童クラブは「家庭でもない、学校でもない、地域の居場所を作ること」を目的とし、保護者と子どもが安心できる第二の家として、その場を提供していく」という事を掲げて発信し、2020年6年目の春を迎えました。3月には、開所時1年生に入学した児童（男子3名、女子2名）の卒業・巣立ちを見送りました。学童のスタートから共に過ごしてきた子どもたちとのたくさんの思い出が胸いっぱい広がって涙があふれてくる瞬間もありました。4月には新1年生を迎え、新年度が始まりました。

いよいよ新学期を迎えた時、世界中の人々の健康と生活を脅かす新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として全国緊急事態宣言が発令されました。学校は一斉休校。春休みから引き続き、朝からの開所、児童の預かりとなりました。先の見えない不安な日々の中でも元気いっぱい過ごす子どもたち。

感染拡大防止のため、3密の回避、新しい生活様式を行いながら「子どもたちと一緒にコロナ禍の時世を乗り切っていこう！」と努める日々となりました。

◆春休み

- ・スポーツデイ・・・ニュースポーツを体感しました。
- ・希望の丘散策・・・木登り、ブランコ、丸太渡り、丘からの眺めを楽しみました。
- ・新入生歓迎会・・・手づくりランチ（バイキング）、ダンスチームのダンス披露、新入生自己紹介。
- ・ミニ遠足・・・真岡市総合運動公園こども広場、ランチはマクドナルドのハンバーガー。
- ・お花見ランチ・・・校庭の桜の木の下でうれしいお弁当タイム。

いろいろな学校行事が小規模で行われたり、実施されなかったりの日常の中で、学童に帰ってくる子どもたちは仲間と一緒に学び、遊び、笑い、泣き、その過程で心身ともに成長しています。



◆夏休み

・マスキング切り絵・・・マスキングテープをちぎって貼っていく作業、それぞれの個性が作品に表れました。

・窓洗い&水遊び・・・プールも中止になった夏、水着なら濡れても大丈夫、窓を洗って水鉄砲で水遊び。

・紙芝居・・・地域の更生保護女性会の皆さんがソーシャルディスタンスをとりながら紙芝居を見せてくれました。

・手づくりランチ・・・恒例の毎週金曜日の手づくりランチ

・キーホルダーづくり・・・シャカチャーというハンドメイドチャーム、世界にひとつだけのチャームが出来上がり、子どもたちの大人気アイテムになりました。

・うちわづくり・・・クラフトテープを使ってミニうちわづくり。

・ブルーベリー摘み

コロナ禍中の夏休みも工夫を凝らしたイベントで特別な時間になりました。



◆秋

・宇都宮花火プロジェクト・・・

「おうちはなび」プロジェクトに参加、お迎え時の家族といっしょに去りゆく夏を花火で楽しみました。





◆冬休み

- ・大掃除・・・各班に分かれて1年の締めくくりの清掃、皆で協力し合っってとってもきれいになりました。
- ・凧作り&凧あげ・・・ポリ袋にみんな自分の好きな絵を描いて、グラウンドで飛ばしてみました。
- ・羽根つき大会・・・なかなか羽子板に羽が当たらない。でも、最後まで頑張りました。
- ・宝探し（なぞとき）ゲーム・・・学年別チームでなぞを解きながら妖精カードを探しました。
- ・ビンゴ大会・・・先生も参加しての大盛り上がりのビンゴ、なかなかビンゴにならない・・・、みんなわくわくノイライラ、景品を選ぶ時の目はキラキラ輝いていました。
- ・地域の人と一緒においしいランチ・・・地域のおじちゃん、おばちゃんと楽しみました。炭おこしの準備も手伝いました。
- ・焼きもち・・・もちを洗って新聞でくるみ、アルミホイルに包んでから焚火へ投げ入れました、ほくほく甘い焼きもちの出来上がり。
- ・五平餅・・・潰した白米を伸ばしてかたちづくり、網にのせて自分の五平餅を焼き、甘味噌をつけて食べました。
- ・手づくりけんちん汁&七草がゆ・・・温かい野菜たっぷりの汁物と七草がゆも堪能。

こんなに盛りだくさんの体験ができた子どもたち。コロナでお出かけできなくても、学童での冬休みはどここのアミューズメント施設より素敵な居場所になりました。

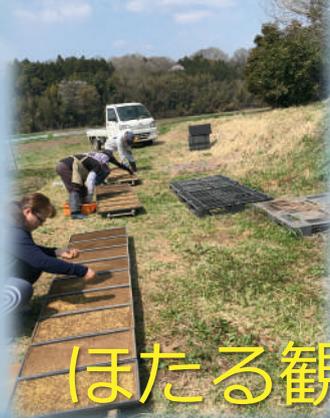


私たちスタッフは楽しい時間はもとより、日常のあらゆるトラブルや問題もひとりひとりに寄り添って、信頼関係を築き、優しさと厳しさをもって子どもたちと過ごしています。また、小学校の先生方とも情報交換会を開くなど、子どもたちのより良い育成のために絆を強めています。恵まれた里山の環境の中で、地域の皆様のご協力をいただきながら、今年度も精いっぱい頑張ってまいります。

子どもと地域を元気にする自然体験活動

春

種まき・田植え



・2020年の田植えは緊急事態宣言中のため、機械にて

遊びにおいでよ！
トンボ大好き！これはサナエだよ



夏

ほたる観察会

幻想的な風景を味わい、保全の大切さを続谷里づくりの高徳会長からお話をききました。

水辺の生き物観察会

かっぱ先生と続谷川で観察会元気なトウキョウダルマガエルと無口なアカガエルに会いました。

ジャガイモ堀り

親子で力を合わせてお芋の株を掘りおこしました。土に触れ、みんな楽しくできました。



秋

稲刈り

今年は県内の参加者のみで5家族の参加になりました。長雨の影響も心配しましたが、無事収穫できました。



冬

しめ縄づくり

毎年恒例のしめ縄づくり、古代米を栽培し、乾燥させ、藁を準備してくださる、大瀧さんに感謝です。子ども達も熱心に作業を進めていました。

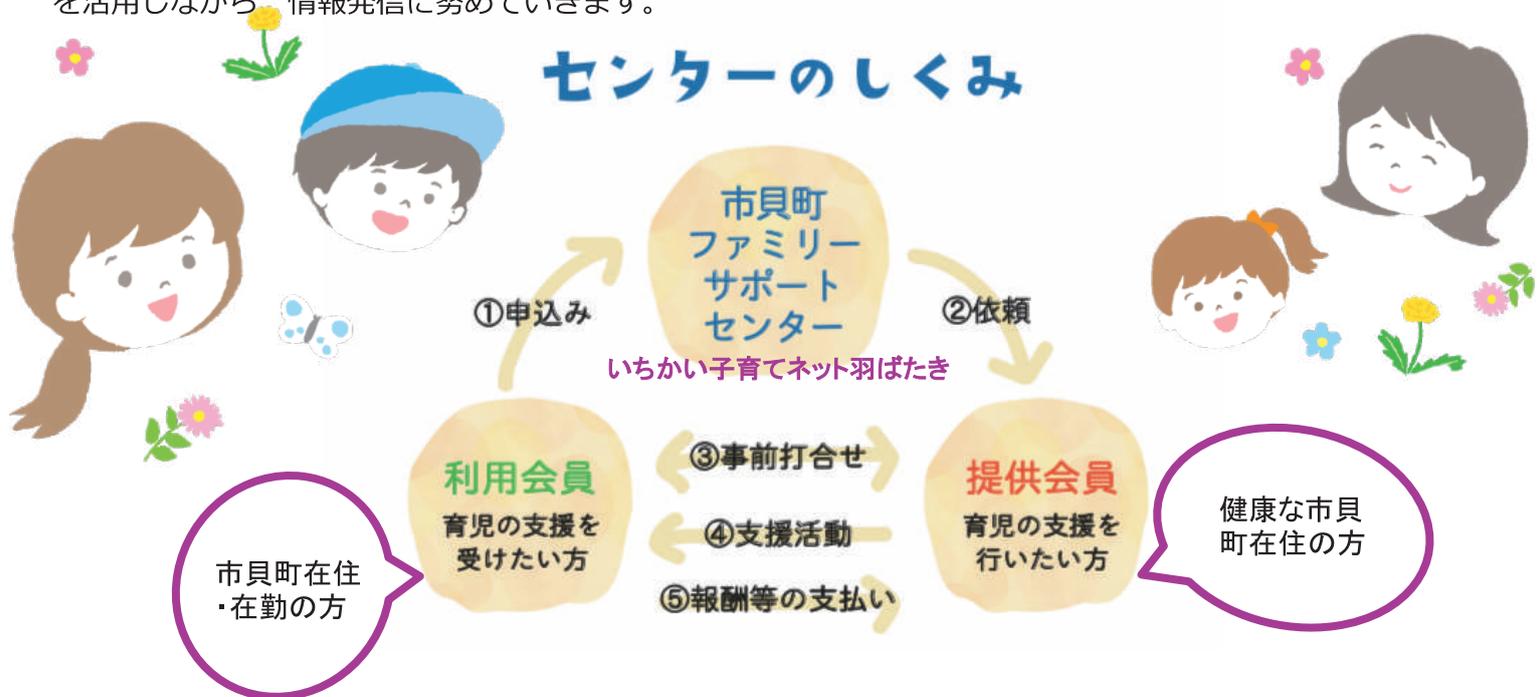
市貝町ファミリーサポートセンター事業

市貝町の子育て施策、子ども子育て支援事業計画の基本理念に「みんなで支え合い地域の力でつくる人にやさしいまちいちかい」とあります。その言葉の通り、ファミリーサポートセンター事業は市貝町で子育てをする世代と地域住民の助け合いによって成り立つ相互援助活動です。

私たちは市貝町ファミリーサポートセンター事業を受託し2年目も、積極的に提供会員の登録と養成、利用会員の登録を促進する計画、実施に向けての準備も始めていました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止策（全国緊急事態宣言の発令）により、その活動の自粛を余儀なくされました。春の養成講座の中止、利用会員の申し込みPRも控えることになりました。

コロナ感染対策を徹底して行うことが可能になった秋、会員養成講座を実施することができました。その他、生涯学習課からの依頼を受け、町民の集いでグループ託児を市貝町中央公民館にて実施し、講座参加者のお子様をお預かりしました。提供会員からは、グループ託児の経験を積んで、自信につなげたいとの前向きな言葉をいただきました。

まだまだ、ファミリーサポートの定着には周知が足りていないところがありますので、今後も町広報誌やHPを活用しながら、情報発信に努めていきます。



2021年度養成講座

春6月4日・5日（2日間）
秋9月15日・22日・29日・10月4日（午前中のみ4日間）

つながることを、あきらめない学習支援

2020年8月スタート

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、2019年まで開催しておりました、地域食堂の開催を見合わせています。

日々変化するコロナ禍で子ども達は今までの生活から一遍し、度重なる休校を経験し、不安の中での生活を余儀なくされています。学校以外での様々な活動や行事も軒並み中止となり地域との繋がりも希薄になっています。新型コロナウイルス感染予防対策を行い、できる活動はないだろうか、と考え、地域での居場所づくりも含めた、学習支援の場所を作ることになりました。赤い羽根、子どもと家族の緊急対策助成金を活用させていただき、コロナ禍で不安を抱えている、児童やご家庭。学習に困難を抱えている児童を支援していく目的でスタートしました。子ども達を支えていただくサポーターには以前から地域での社会貢献活動をしたいと、お話をいただいていた、花王株式会社、社員の方々。地域の社会人や学生の皆さんに加わっていただき、学習支援をスタートさせました。参加したご家庭からは、帰宅すると、子どもが嬉しそうに、学習支援の話をしてくれる。これからも継続したいとの声をいただきました。

課題としては、まだ十分に周知されておらず、必要な家庭への支援が届いていない現状もあります。行政、学校、地域との連携を図りながら、事業展開できるよう努力していきます。

より多くの方にこの活動を知っていただき、ご賛同いただけるよう、情報発信もあわせて、おこなっていきたくと思っています。

2020年度の活動

全14回開催
参加者数 14人
延べ参加者数 89人
サポーター 4名
スタッフ 4名
場所

旧小貝中央小 多目的ルーム
中央公民館 204研修室
サシバ未来館 多世代交流室
より参加しやすいように、小学校区での開催が実現できて良かったです。



羽ばたきでの様子



中央公民館での様子



小学生から…
自宅で学習するより集中できた。
わからないところをすぐ聞いて良かった。

保護者から…
・私の心の安定になりました。
ぜひ、続けてほしい。

サポーターから…
毎回楽しく参加させてもらっています。
回を重ね、子ども達も慣れて、たくさん話をしてくれるようになりました！

サシバ未来館での様子



憩時間が楽しみ。みんなで問題を解いたり、学校でのことをおしゃべりして、楽しいひと時です。



あたらしいこと、始まります...始めます...

いちはか子育てネット 羽ばたき

サシバの里いちかいで

発見!体験!感動! 2021

あついに
おこころよ...

お申し込み・お問い合わせ

こちらのLINEアカウントもしくはメール等でお申し込みください。

NPO 法人いちか子育てネット羽ばたき
〒321-3404 栃木県芳賀郡市貝町大字続谷 1143-3 旧小貝中央小学校1階
TEL 090-3533-6521
FAX 0285-81-7077
メール habataki_ichikai_0_100@yahoo.co.jp
ウェブ https://www.i-habataki.org/

YouTubeチャンネルも見てね!

2020年度は、なかなか、活動できなかった自然体験活動。
2021年度は新しい事業をプラスαして挑戦します。

そして...
サロン活動も、難しいこの時代...。
しかし、この5月よりまた再開です。
自分のスキルを生かし、新しいことを始めてみたいという先生たちを応援。
その力を発揮できる居場所の提供。
参加者のみなさんにも、新しいことにチャレンジできる居場所になればと...。
遊びにきてくださいね。

準備が整い次第、ご案内しますね。

たくさんのご寄付・ご協力ありがとうございました。

賛助会員のみなさま

藤井美佳 小林清美 高德克行 続谷里づくりの会
白うめ塾 石井辰弥 高木電気商会

(敬称略)
(順不同)

特定非営利活動法人 いちか子育てネット羽ばたき

〒321-3404 市貝町続谷1143-3 旧小貝中央小学校内1階
携帯TEL*090-3533-6521
FAX*0285-81-7077
メール* habataki_ichikai_0_100 @ yahoo.co.jp
HP* i-habataki.org

